

第4回 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会

議事次第

日 時：平成 27 年 12 月 22 日（火） 16:00～17:30

場 所：東京国際フォーラム ガラス棟 4F G409 会議室

1. 開会

2. 開会挨拶

舛添 東京都知事

遠藤 東京オリンピック・パラリンピック大臣

3. 議事

(1) 取組紹介（震災の教訓を踏まえた市の取組）（仙台市）

(2) 規約等改正について ※ 資料 1-1, 資料 1-2 は省略 [参考資料：「協議会 構成機関・団体」]

(3) 取組方針を踏まえた多言語対応の推進状況について

協議会全体 [資料 2-1]

交通分野 [資料 2-2]

道路分野 [資料 2-3]

観光・サービス分野 [資料 2-4]

(4) 各機関・団体が推進する先進的取組について

ア 多言語対応全般（事例紹介）

「免税手続きカウンター取組及び同カウンターにおける多言語対応について（日本百貨店協会） [資料 3-1]

「千葉県多言語観光案内板の表記等に関するガイドライン」の作成について（千葉県） [資料 3-2]

「日原鍾乳洞案内の多言語化と日本鍾乳洞サミットの開催」（奥多摩町） [資料 3-3]

「臨海副都心における受入環境整備の取組」（東京都） [資料 3-4]

イ 防災・災害分野

① 事例紹介

「自然災害発生時の初動対応基本ガイドライン」の作成について（日本旅行業協会） [資料 4-1]

「大涌谷の火山活動に関する多言語による情報発信について」（神奈川県） [資料 4-2]

「防災ブック『東京防災』の多言語対応について」（東京都） [資料 4-3]

「避難場所等のピクトグラムの標準化（検討状況）」（内閣府） [資料 4-4]

「災害時における外国人旅行者への情報提供アプリ」（観光庁） [資料 4-5]

「緊急地震速報・津波警報の多言語化について」（気象庁） [資料 4-6]

② 講演

「災害時における外国人支援について」（長岡市） [資料 5]

(5) 基本的考え方の改正について [資料 6]

(6) 協議会の取組報告等（事務局） [資料 7]

(7) 意見交換等

4. 閉会